

よいことの
ために
手を取りあおう

WEEKLY REPORT

高松東ロータリークラブ 週報

会長:三好 康治 幹事:井上 秀人

Rotary
高松東ロータリークラブ



プログラムのご案内

今週

(創立第2713回) 令和08年05月19日

客話「瀬戸内国際芸術祭20年の歩み」

瀬戸内国際芸術祭
NPO法人瀬戸内こえびネットワーク
ボランティアサポーター
こえび隊リーダー 甘利 彩子 様

次週

(創立第2714回) 令和08年5月26日

卓話「新入会員卓話」

田村 哲雄 君

前週例会レポート

創立第2712回例会出席報告 令和08年05月12日

前々回の訂正	会員総数	出席免除会員
04/14 100% 04/21 100% 04/28 休会	45名	(a)1名 (b)6名
出席計算に用いた会員数	出席会員数	出席率
43名	39名	90.70%

会長挨拶

皆さま、本日は私の心の決意をお話しさせていただきます。それは——お墓をつくることです。
両親が亡くなってから、ずっと胸の奥で揺れ続けていた思いがあります。
「いつか建てなければ」と思いながらも、気持ちだけが浮かんでは消えていく、建墓の構想がまとまらない、そんな年月を
過ごしてきました。そんな折、萩原朔美さんから「地球の記憶を蘇らせるしごと」という言葉をいただきました。
親が亡くなり、供養のあかしとしてお墓を建てよう。古い代々のお墓はまとめて供養しよう。これからの世代がスマートに
受け継いでいける墓地にしたい。その言葉が、私の心の深いところに静かに灯りをともしてくれました。
なぜお墓をつくるのか。なぜお墓参りをするのか。なぜお墓の前に立つと、あんなにも心がすーっとほどけていくのか。
考えても答えは形になりませんでした。けれど、あるときふっと気づいたのです。
「そうだ。お墓まいりは、ご先祖さまにつながることなんだ。」
迷いが静かにほどけていきました。お墓をつくるという行為は、石を積むことだけではありません。“つながり”を形にし、
“ながれ”を未来へつくること。その気づきが、私の背中を押してくれました。だから私は、お墓をつくります。
それは、過去を閉じるためではなく、これからの世代へ、静かで確かな“道”を手渡すためです。
本日は、私の心の決意をお聞きいただき、ありがとうございました。